

# 資料4 令和5年度 次世代モビリティを活用した都心回遊性向上実験 結果とりまとめ（概要）

## 実験の目的

- 堺都心部には、歴史文化資源をはじめ豊富な地域資源が点在しており、それらをつなぐ移動手段を活用し、回遊性の向上を図ることが重要。
- 今年度の実証実験では、自動追従型の次世代モビリティを活用し、ガイドツアー形式で堺都心部の地域資源を巡ることにより、地域資源の魅力発信と、次世代モビリティ活用による回遊魅力や回遊性の向上について効果検証を行う。

## 実施主体等

- 実施主体 : 堺市
- 協力 : パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社  
パナソニック システムデザイン株式会社  
堺観光ボランティア協会、ハウユウ株式会社

## 実験内容

実験名称	実施日時	概要
①都心部周遊ツアー	10月7～9日 13時～15時	大阪港湾局による舟運ツアー（天保山発、堺旧港着）における堺都心部観光のメニューの1つとして実施。さかい利晶の杜周辺を巡るツアー。
②堺環濠町家巡りツアー	10月12～14日 10時、13時	堺環濠北部地区に残る町家等を巡り、地域の魅力発信に加え、次世代モビリティを活用した移動体験を提供。

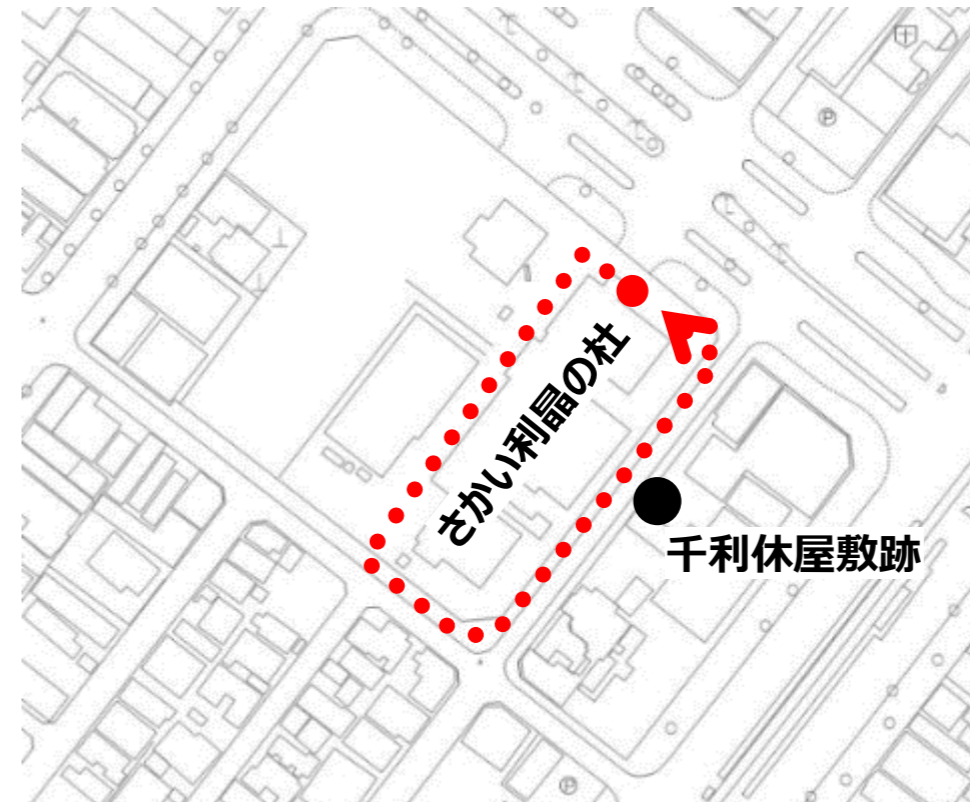
## モビリティ

- ・電動
- ・車いすタイプ
- ・一人乗り
- ・自動追従機能
- ・重量：約70kg
- ・寸法：1,046×592×870mm（L×W×H）
- ・最大搭載重量：約100kg
- ・走行速度：0～4km/h
- ・電池：リチウムイオンバッテリー



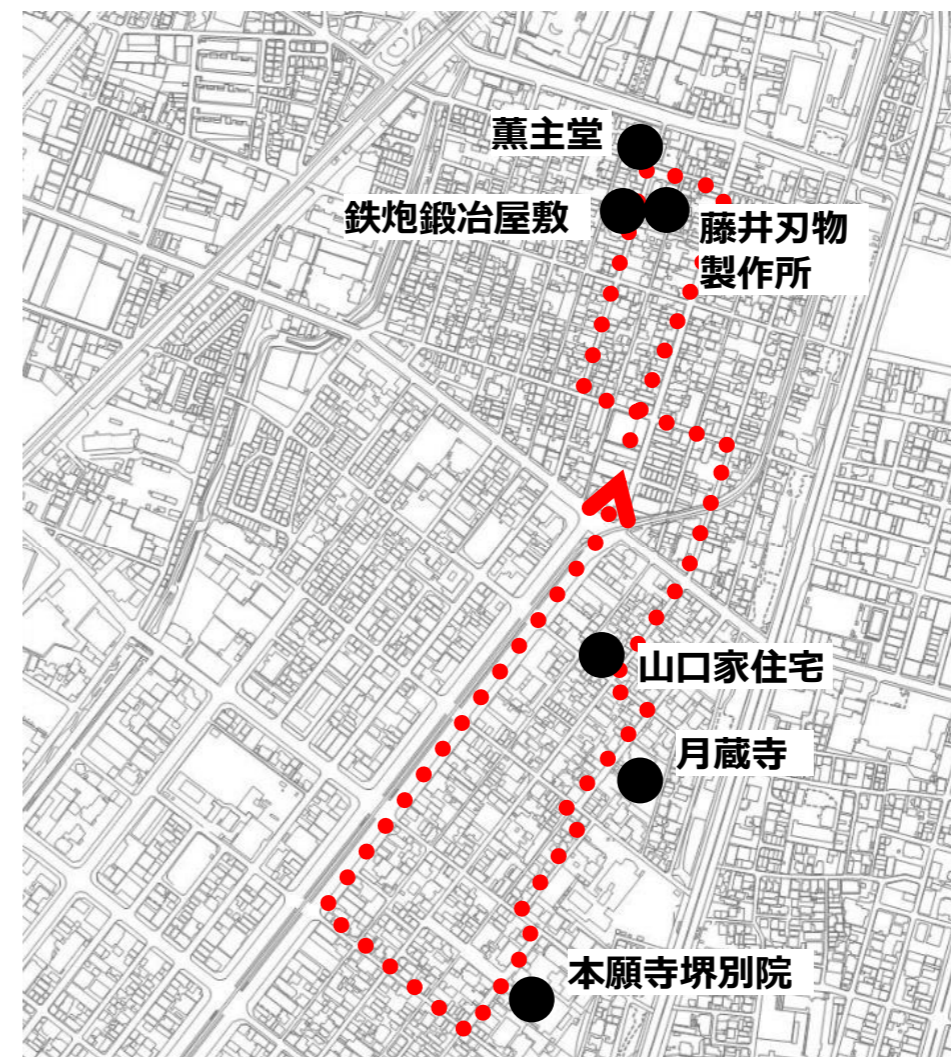
## 実施状況①

1回約15分、参加者数73人



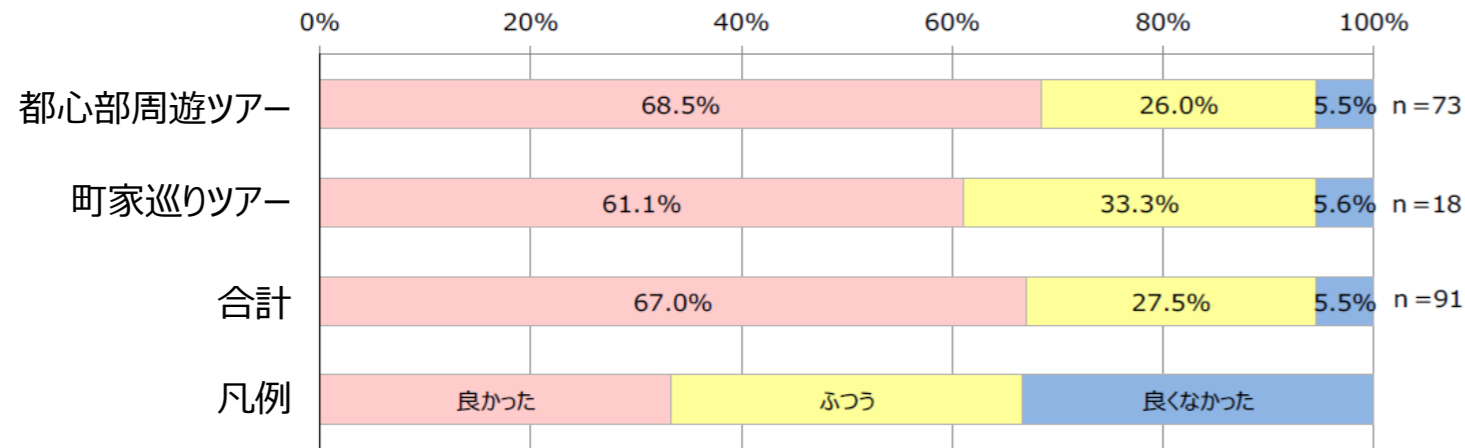
## 実施状況②

1回約2時間、参加者数18人

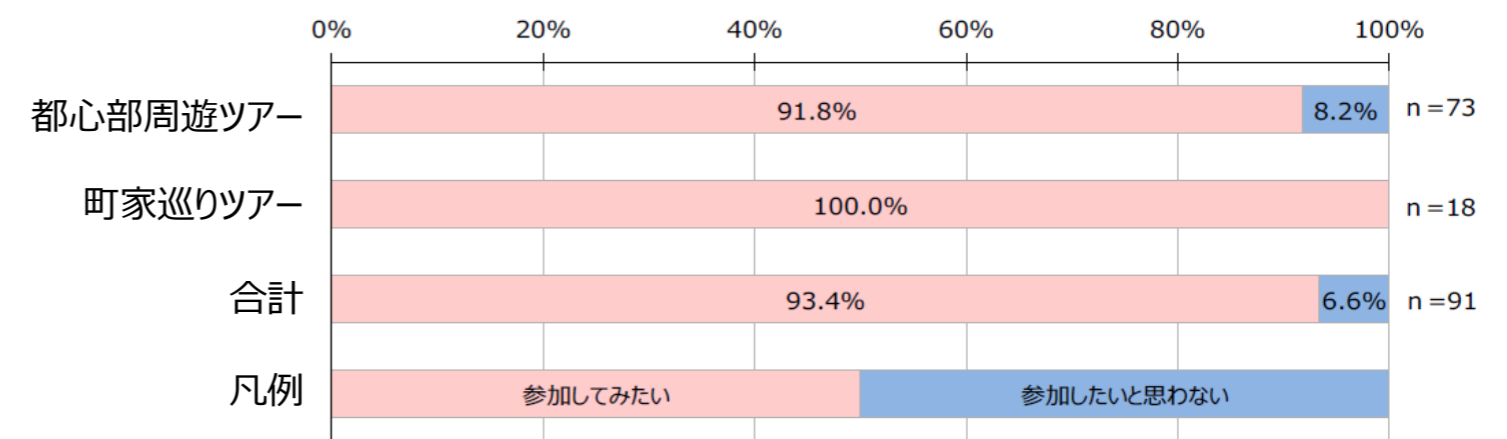


## アンケート結果

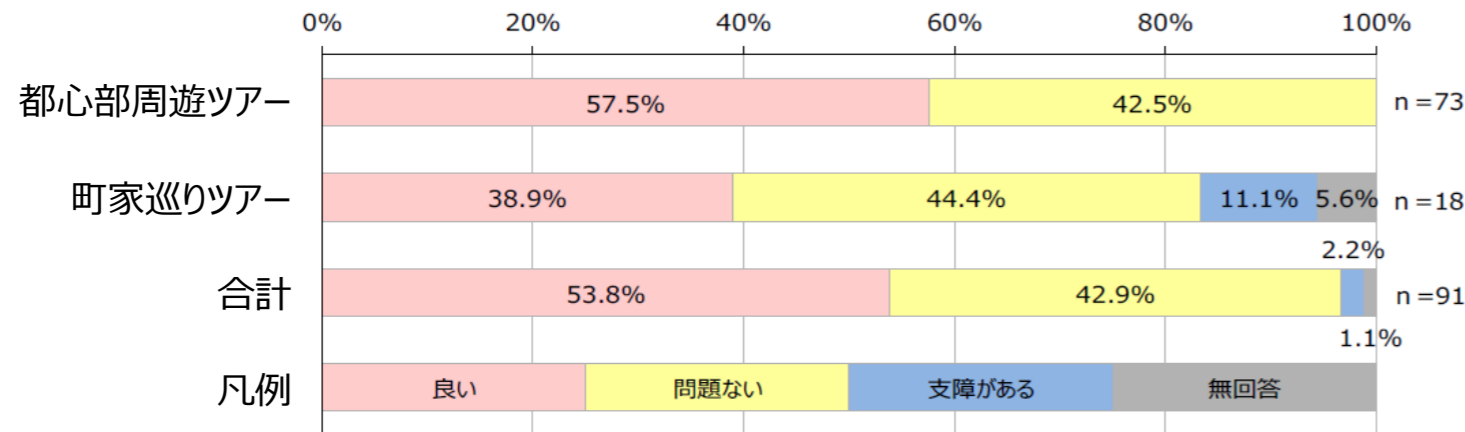
### 【速度など乗車したモビリティの乗り心地について】



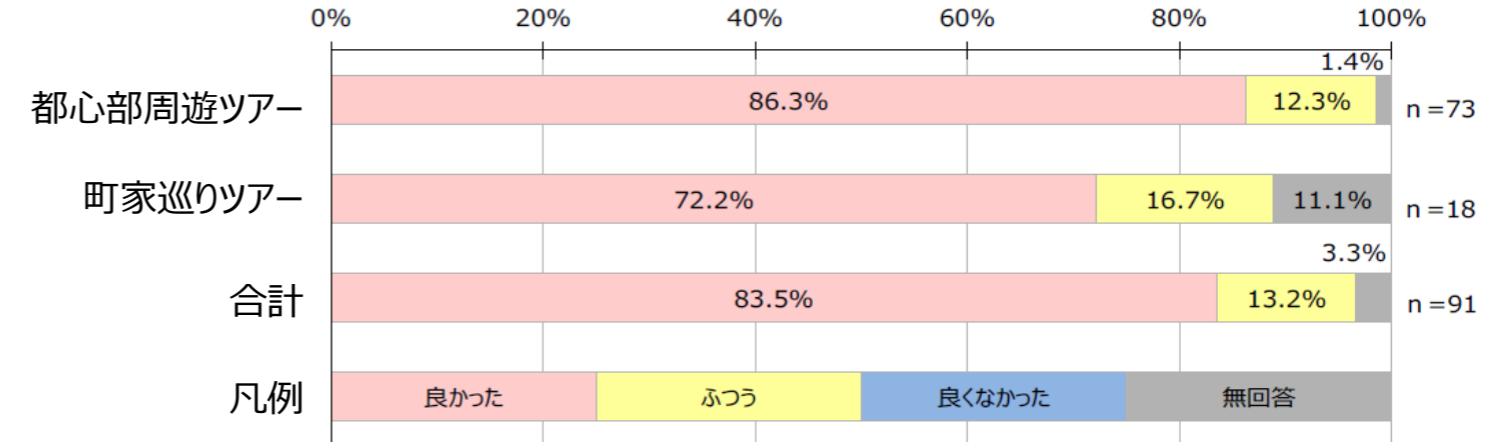
### 【今回のようなモビリティを使ったツアーへの参加について】



### 【モビリティの安全性について】



### 【今回のツアーの感想について】



## 自由意見（抜粋）

項目	ポジティブな意見	ネガティブな意見
①都心部周遊ツアー	<ul style="list-style-type: none"> <li>初めての体験で、すごく良かった。</li> <li>案内ガイド付きでもう少しあちこち行けたら良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>左右に振られるのが気になる。</li> <li>小刻みに止まりすぎない方が良いと思う。</li> </ul>
②堺環濠町家巡りツアー	<ul style="list-style-type: none"> <li>足が悪いので、モビリティに乗れたことはとてもありがたい。</li> <li>次世代モビリティに乗るのは初めてだったので、新鮮で楽しかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モビリティの性能の向上が望まれる。</li> </ul>

## 今後の課題

項目	調査結果	課題
地域資源の魅力発信について	<ul style="list-style-type: none"> <li>都心部周遊ツアーの参加者は、9割以上の方が堺市外であり、また10代から90代と幅広い年齢層の方に対し、本市の地域資源をPRできた。</li> <li>堺環濠町家巡りツアーのアンケート結果では、市外のみならず市民にも新たな発見があったという意見や、再訪したいといった意見も多くみられた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果にもあるように、堺都心部を含めて本市には寺社仏閣をはじめとした数多くの地域資源があり、これらの情報発信を継続することが重要。</li> <li>堺環濠北部地区における伝統産業やまちなみなどの魅力について、関係部局等と連携し、より効果的な魅力発信を行うことが重要。</li> </ul>
回遊魅力や回遊性向上について	<ul style="list-style-type: none"> <li>都心部周遊ツアーに関するアンケートの結果、次世代モビリティの乗車について魅力を感じるという趣旨の意見が見られた。一方で、左右に振られるなどの乗り心地が悪いといった意見もあった。</li> <li>堺環濠町家巡りツアーの結果、次世代モビリティを活用したツアーに付加価値を感じる方が多かった。また、自動車等の通る公道における実施であったため、安全確保に相当の体制が必要であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代モビリティは他では体験できないことのため、乗車体験自体が回遊魅力につながる事が分かった。快適性の向上に向け、ルートやモビリティ選定、円滑な運営の実施が課題。</li> <li>障害者など全ての人が乗車でき、ツアーの価値を高めるものとして回遊魅力の向上につながった。自動車が通る道路や狭い歩道などでは、安全確保に労力が必要で、実装にはルート選定など検討の深度化が課題。</li> </ul>